

PF はサービスリニューアルに伴い、2018 年 1 月 11 日(木)0 時(UTC)より新規申込の受付を休止しています。

1. サービス仕様

当社は、以下のサービスを提供します。

(1) PF 基本サービス

① アプリケーション実行環境

Java で開発された契約者のアプリケーションを本サービス上で配備（以下「デプロイ」という）および実行するための環境を提供します。

また、契約者がデプロイしたアプリケーション（以下「本アプリケーション」という）を実行する環境として、別表 1 のとおり、システム構成パッケージ（Web/AP/DB の組合せパターン）を提供します。（注 1）なお、本仕様書にて、インスタンスとは、本アプリケーションを本サービスリソース上で仮想的に実行する単位をいうものとします。

② 開発フレームワーク

契約者のアプリケーション開発を支援する Java 開発フレームワークを提供します。

③ アプリケーション開発 Eclipse プラグイン

契約者のアプリケーション開発を支援する Eclipse プラグインを提供します。

提供される Eclipse プラグインの種類については、別表 2 のとおりとします。

(2) ダッシュボード

本アプリケーションの管理を行うことができます。

① お知らせ

リリース情報などの情報の確認を行うことができます。

② 稼働状況の確認

アプリケーションや、Web、AP、DB の稼働状況の確認を行うことができます。

Web および AP の操作（起動／停止／再起動／スケールアウト・イン）を行うことができます。

③ ロードバランサーアクセス URL

本アプリケーションにアクセスするための FQDN の確認を行うことができます。

(3) モニタリング

① システム監視

運用監視画面から CPU 使用率やメモリ使用量など、PF のリソース状況の確認を行うことができます。

② ログ監視設定

アプリケーション実行環境に出力したログファイルに対してキーワードの監視を行うことができます。

(4) アプリ開発

① ユーザー資産管理

アプリケーション実行環境にユーザー資産（WAR ファイル等）を新規登録し配備できます。

② WEB/AP ログ

Web/AP ローカルディスク上の業務ログ（注 2）およびシステムログ（注 3）を取得し、ZIP 形式でダウンロードすることができます。

③ WEB/AP 過去ログ

1 日毎に外部ストレージへ自動バックアップされた過去の業務ログ・システムログを ZIP 形式でダウンロードすることができます。

④ ログ閲覧（データベースログ）

PF で利用しているデータベースのログを取得し、閲覧することができます。

⑤ データベース

リレーションナルデータベースサービスへの接続情報を表示します。

契約者は本接続情報を利用し、リレーションナルデータベースサービスを利用することができます。

(5) 環境設定

① ロードバランサー設定

契約者が購入した証明書をロードバランサーに登録することで、本アプリケーションの通信を https に変更することができます。また、登録した証明書を削除することもできます。

② パッチ適用

契約者はパッチ適用画面の適用可能パッチ一覧からソフトウェア等のパッチ適用を行うことができます。

③ アクセス制御

契約者はアクセス制御画面で、本アプリケーション、またはデータベースサービスへの中継サーバにアクセス可能な IP アドレスを指定することができます。

④ メール送付先設定

モニタリングのログ監視設定でキーワードが検出された際のメール送付先を登録することができます。

(6) ドキュメント

① マニュアル

本サービスに関するドキュメントを提供します。また、各種開発ツール（開発フレームワークおよび Eclipse プラグイン）をダウンロード可能な状態で提供します。

② FAQ

サービスに関する FAQ を提供します。

(7) WebAPI

本サービスのうち、以下について WebAPI で実行できます。

- ① WEB/AP ログおよび WEB/AP 過去ログの一覧取得およびダウンロード
- ② ユーザー資産管理

2. 提供リージョン

本サービスは、以下のリージョンで提供されます。

- ・東日本リージョン 1
- ・UK リージョン 1
- ・フィンランドリージョン 1
- ・ドイツリージョン 1
- ・スペインリージョン 1
- ・US リージョン 1

3. 制限事項・注意事項

- (1) 本サービスにより提供されるアプリケーション実行環境については、サービス利用開始時は全てのアクセスを遮断する「ALL DENY」（全却下）の状態で提供されます。アクセス制御機能にて契約者自らがインターネットからのアクセスを許可する設定を行う場合は、本アプリケーションのセキュリティについての責任を契約者が単独で負うものとします。これは、悪意のある第三者からの不正操作などによる被害についても、同様となります。
- (2) スケールアウト・インは 2017 年 7 月 14 日以降に払い出された環境で利用可能です。
- (3) 別表 1 に記載のデータベース容量上限に達するとデータベースの接続エラーとなる場合があります。データベースに接続のうえ使用容量を確認するなど、容量上限に達しないようご注意ください。
- (4) FUJITSU Cloud Service for OSS PaaS の HTTPS(TLS)仕様として、SSL/TLS 通信暗号化強度が高くない方式を使用する事が可能となっています。PaaS が提供する HTTPS に対するアクセスについて、新しいブラウザを使用するなどして、暗号化強度が高い方式で通信されるようにしてください。

注釈

- 注1. 本サービスにおいて、AP とは、業務処理の流れを制御するビジネスロジックを実装しているインスタンスをい
い、Web とは、ユーザーからの要求を受け付けて、AP に橋渡しする機能をもったインスタンスをいいます。
- 注2. 契約者のアプリケーションが出力するログです。
- 注3. httpd、Tomcat、OS のシステムログなどです。

以上

別表1 システム構成パッケージ一覧

アプリケーション実行基盤構築機能では、以下のシステム構成パッケージを提供します。

システム構成 パッケージ	構成	初期インスタンス数		最大インスタンス数		データ ベース 容量	DB構成 冗長化 構成有無
		Web構成	AP構成	Web構成	AP構成		
Web-Application-DB 最小規模	Web+AP+DB	1	1	5 (スケールアウト可能な数:4)	5 (スケールアウト可能な数:4)	50GB	無
Application-DB 最小規模	AP+DB	-	1	-	5 (スケールアウト可能な数:4)	50GB	無
Web-Application-DB 小規模	Web+AP+DB	2	2	9 (スケールアウト可能な数:7)	9 (スケールアウト可能な数:7)	200GB	無
Application-DB 小規模	AP+DB	-	2	-	9 (スケールアウト可能な数:7)	200GB	無

導入ミドルウェアはWeb/AP共にApache http 2.2 Tomcat8 (JDK8.0)です。

別表2 Eclipse プラグインの種類

アプリケーションの構造を「モデル」、「ユースケース（業務の振る舞い）」、「ルール定義」、「ビジネスロジック（Java 資産）」として整理、型決めした開発を支援するプラグインを提供します。

以下の5種類のEclipse プラグインを利用できます。

プラグイン名称	概要
モデル・カタログ・ルール定義	サービス機能の単位にモデル、ルール、及びモデルに紐づくデータベース上のテーブルとそのテーブルに対する操作(検索条件等)を定義する
SimpleEventFlow 定義	ユースケース（API呼び出し）単位にサービス機能の実行順序(フロー制御)を定義する
URI マッピング定義	外部公開用の RESTI/F と契約者が開発したアプリケーションの紐づけを定義する
コードチェッカー	Java 資産がコード規約に則っているかチェックする
インパクト分析	モデル定義、ルール定義、Java 資産等の分析を行い資産修正による影響範囲を分析する

以上

附則（2016年1月18日）

本サービス仕様書は、2016年1月18日から適用されます。

附則（2016年3月17日）

本サービス仕様書は、2016年4月1日から適用されます。

附則（2016年4月28日）

本サービス仕様書は、2016年4月28日から適用されます。

附則（2016年7月1日）

本サービス仕様書は、2016年7月1日から適用されます。

附則（2016年7月31日）

本サービス仕様書は、2016年7月31日から適用されます。

附則（2016年11月25日）

本サービス仕様書は、2016年11月25日から適用されます。

附則（2017年1月27日）

本サービス仕様書は、2017年1月27日から適用されます。

附則（2017年2月28日）

本サービス仕様書は、2017年2月28日から適用されます。

附則（2017年3月23日）

本サービス仕様書は、2017年3月23日から適用されます。

附則（2017年5月8日）

本サービス仕様書は、2017年5月8日から適用されます。

附則（2017年7月14日）

本サービス仕様書は、2017年7月14日から適用されます。

附則（2017年8月9日）

本サービス仕様書は、2017年8月9日から適用されます。

附則（2017年10月2日）

本サービス仕様書は、2017年10月19日から適用されます。

附則（2018年5月24日）

本サービス仕様書は、2018年5月24日から適用されます。

附則（2018年6月22日）

本サービス仕様書は、2018年6月22日から適用されます。

附則（2018年8月30日）

本サービス仕様書は、2018年8月30日から適用されます。